

土・くらし・空港 — 「成田」40年の軌跡 1966-2006 —

成田国際空港が成田の地に位置決定されてから今年で40年を迎えます。

歴史伝承委員会では成田空港問題の歴史を後世に残すため、その背景となる地域の風土や歴史も含め、

できる限りの資料を収集したいと活動を続けてきました。

このたび、これまで収集した資料などをもとに、空港の位置決定から今日に至るまでの経緯について企画展示を開催いたします。

展示概要

A

前史
1961-1966

空港のはじまり

—新空港計画と揺れる地域社会—

新空港が三里塚に決定したという。地元の人には寝耳に水の出来事。このニュースを人々は、突然、新聞、ラジオ、テレビで知りました。

このコーナーでは、新空港計画が浮上して以来、富里や木更津沖など複数の候補地を経て三里塚に決定されるまでを扱います。

主な展示品:三里塚への空港建設を報じる1966年6月23日の「千葉日報」、新東京国際空港公社が発行した解説冊子など



1963年、運輸省が作成した新空港計画案のパンフレット(通称「青本」)

B

1966-1967

位置決定の衝撃

羊や馬が放牧されるのどかな牧場、おおきく広がる開拓の畑、起伏にとんだ古村のたたずまい。人々は、その時、どのように対応したのでしょうか。

空港の位置決定によって地域は大きく揺れました。反対同盟が結成される一方、「条件派」と呼ばれる人々が有利な条件のために交渉を開始しました。また、「新東京国際空港公園」が発足し、分室が成田につくられました。

主な展示品:「古村」と「開拓」の農機具、農業日記、当時の手帳、公団職員の初期の辞令など



1948年ごろの東峰部落での開拓の様子

C

1967-1978

力による対決の時代

国は、空港建設の準備に入りました。移転を決める人、村ぐるみ家族ぐるみで反対する人々…。ドラム缶が鳴り、激しい衝突が繰り返され、多くの犠牲者をだしながら、成田空港は一本だけの滑走路で開港します。

このコーナーでは、ぶつかり合いの状況を当時の写真やピラ、チラシ、証言などから構成し、どうしてぶつかり合いになるのかを探ります。

主な展示品:「空港建設だより」、空港建設時の航空写真、ドラム缶、バリケード、強制代執行時の写真、地下壕の青焼き図面、野戦病院ニュース、「アサヒグラフ」、反対同盟ハチマキ、少年行動隊作文集



右/1971年2月の第1次代執行で「第二壘」に立てこもる農民
左/1970年ごろの空港建設の状況

C

特別コーナー

小川プロダクションと三里塚

小川紳介監督率いる映画製作集団小川プロダクションは、三里塚に住み込み、反対に揺れるムラを8本の映画に記録しました。一連の作品は、全国で上映され多くの人々を三里塚に引きつけました。

当委員会には三里塚時代のほぼすべての小川プロ資料が収蔵されています。今回、それらを初公開し、三里塚における小川プロの活動を描き出します。

主な展示品:映画ポスター、腕章、フィルムとテープ缶、カット表、スクラップブックなど



1970年ごろ、辺田部落で田植えを取材する小川プロのスタッフ

D

1979-1994

社会正義と新たな地域像

—シンポジウム・円卓会議—

国は二期工事の建設が進まず、反対同盟側も多くの被告を抱えた裁判が続くなど、双方に長く重い時間が流れました。出口の見えない状況を切り開くために、国・空港公社と反対同盟熱田派は、ついに話し合いのテーブルに着いたのです。

このコーナーでは、開港以降シンポジウムと円卓会議にいたる時間の流れを扱います。

主な展示品:シンポ・円卓会議に関する証言ビデオ、都はるみコンサートポスター



1992年7月に開催された第7回シンポジウムの様子

歴史伝承委員会がめざすもの

このような不幸な出来事を二度と繰り返さないために、私たちは、これらの事実をできるだけ正確に把握し、後世に伝えていく活動をしています。

成田空港の40年の歴史から私たちは何を学べばよいのでしょうか。日本や世界各地での、「負の歴史」への取り組みも参照しながら考えてみたいと思います。

※展示品は予定のため変更される可能性があります

特別イベント

小川プロダクション映画上映会

日時 2006年12月2日(土)

13:30~ 「三里塚・第二壘の人々」 16:30~ 「映画作りとむらへの道」

会場 成田国際文化会館1階小ホール 入場無料

「三里塚・第二壘の人々」

1971年(昭和46年) 143分 白黒

農民は、滑走路北端・駒井野部落付近に6つの砦をつくり、地下壕を掘り、立てこもる。農婦は自らの身体を樹木に鎖で縛りつけて抵抗する。カメラは長廻しで砦の中の人々を追う。マンハイム映画祭スタンバーグ賞受賞。

「映画作りとむらへの道」

1973年(昭和48年) 51分 白黒

「三里塚・辺田部落」を製作する小川プロを自ら撮影したドキュメントである。完成後、27年間封印されていたが、元スタッフらの手で1999年に復刻され、同年の山形国際ドキュメンタリー映画祭で初公開された。